|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （３）おこづかいで何ができるの？ | １ | お金って、何だろう？  ～意味・価値・計画的な使い方～ |
| □封筒③　□封筒⑮[共通]　□ワークシート（3） | |

|  |
| --- |
| １　この学習のねらいについて |
| 「お金」の働きには、①交換の仲立ち②価値を表す③価値の蓄え　があります。ここでの指導は、この働きに気づかせます。①交換の仲立ちとしては、「もの」や「サービス」との交換があります。子供にとって購入の機会が多い、お菓子の購入が「もの」との交換であり、遊園地の入園料が「サービス」との交換です。また、③価値の蓄えについては、子供が使えるお金には限りがあるので欲しいものを買うために浪費を控えて（我慢する）貯金する必要についても学びます。  なお、①交換の仲立ちの「サービス」に「労働」が含まれ、その対価としてお金を得ることは「（１０）お金のゆくえは?」で、②価値を表すについては「（１２）いくらで買えるの？」で学びます。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ２　学習前の準備と指導の見通し等 | |
| 封筒③：[１]お菓子売り場・[２]遊園地  ・[３]貯金  封筒⑮：[２]がまぐちくん・[５]家庭学習ﾏｰｸ  ・[６]500円  ワークシート：（３）  ③[１]お菓子売り場　③[２]遊園地　　　③[３]貯金    ⑮[２]がまぐちくん　⑮[５]家庭学習ﾏｰｸ　　⑮[６]500円 | 活用場面：日生・生単・家庭 |
| ○指導の見通し○  がまくんは、毎月500円のお小遣いをもらっています。そのお小遣いをどのように使うか考えました。  ↓  お小遣いは、「もの」や「サービス」と交換できることに気づく。  「高価なものやサービス」を購入する場合は、お小遣いでは足らないので貯金する必要がある。  ↓  お小遣いをもらったらどのように使うか考える。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ３　児童の実態と段階別目標 | | |
|  | 学習前の子供の様子 | 目標 |
| A | ・家の人のお金で色々なものを買っていることに気付いている。 | ・お金は、ほしい「もの」と交換できることに気付ける。 |
| B | ・お金がないと、「もの」や「サービス」と交換できないことに気付いている。  ・貯金の経験がある。 | ・お金は「もの」と「サービス」の交換の仲立ちをしていることが分かる。  ・お金の使い方を考える際に、貯金するという選  択肢があることを理解できる。 |
| C | ・持っているお金以上に支出ができないことを知  っている。  ・貯金の経験はあるが、目的を遂げるまでお金を  貯めることができない。 | ・「もの」は、目の前に形として残るが、「サービス」は時間の経過後、形として残らないことに気付ける。  ・買う必要がない場合（浪費防止）には、貯金という手立てがあることが分かり、そのよさを説明できる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導例 | |
| 活　動　内　容 | 指導のポイント |
| 1. 本時の学習内容を知る。   がまくんは、毎月500円のお小遣いをもらっています。そのお小遣いで遊びに行ったときにジュースを買ったり、ゲームをしたりしています。がまくんと一緒にお小遣いの使い道を考えてみましょう。   1. 学習問題を知る。   おこづかいは、どんなつかい道をしたらよいでしょう。   1. お小遣いを使った経験を発表する。   ・お菓子を買った  ・バスに乗った   1. がまくんの使い道を３つ掲示し、お小遣いと交換したときの気持ちや理由をワークシートに書き、発表する。 2. もしお小遣いをもらったら、何を買いたいか、それは、「もの」か「サービス」の購入か、ワークシートに記入したり、考えたりする。   ・ゲーム　　　　みんなと楽しめる  やりすぎないように  ・じゆうちょう　もう使い終わるから  ・ガチャガチャ　今、集めているから  ・ゲームソフト　みんながもっているから  でも高くて買えないから貯金する   1. まとめをする。   ○お小遣いは、「目の前に残るもの」や、「目の前に残らないこと」と交換している。  ○貯金をするとよい。 | □がまぐちくんと５００円のカードを提示しながら話を聞かせ、子供にイメージをもたせましょう。  □子どもの発言を引き出しながら、板書しますが、がまくんの３つの使い道につなげるようにしましょう。  自分が買いたいと考える「もの」や「サービス」を書かせましょう。**どれが「もの」か「サービス」か分からないときは、目の前に残るか否かで確認させましょう。**  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png  お小遣いをもらった経験のない子もいるので、お金をもらって何をしたかと聞いてもよい。家族と一緒にした経験でもよいでしょう。  **ポイント**  K:\教材データ\ポイントの指.png  □ワークシートへの記入が難しい場合は、貯金箱を見せて貯蓄の大切さを確認する。  □記入が可能な子供は、ほしい「もの」や「サービス」を複数記述させ優先順位を数字で書かせる。 |



おこづかいは、どんなつかい道をしたらよいでしょう。





おこづかいやおとしだまで

なにをしましたか

・おかしをかった

・ゲームをかった

・ゆうえんちにいった

・ちょ金した

・お家の人にあずけた



＜考えたこと＞

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| つかい道 | | りゆう | はたらき | | あなたはどうしますか？ | |
| １ |  | ほしかったものだから | | 「目のまえに  のこるもの」  と、こうかん | | ハンバーグセットを食べる  キャラつきじゆうちょう | |
| ２ |  | よい気もちや時間をあじわう | | 「目のまえにのこらないこと」と、こうかん | | ゲームセンターであそぶ | |
| ３ |  | お金をためて高いものを買う | | お金をためる（ちょ金） | | ゲームのソフトがほしい  キャラクターのリュックがほしい  今ほしいものがない | |

○おこづかいは、「目のまえにのこるもの」や、「目のまえにのこらないこと」と交換している。

○ちょ金をするとよい。

お家の人とやってみましょう



